



のんほい！

みんなで語ろう 私たちの誇り、介護の魅力
～ 守りたい大切な命、つなげよう福祉の心 ～

■主催：21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会 (略称：21・老福連)

Tel:06-6770-1600 fax:06-6770-1611
E-mail:roufuku@siren.ocn.ne.jp
HP:<http://www.roufukuren.jp/>



豊橋市の花：ツツジ

21・老福連 第16回職員研究交流集会in 愛知

2016年11月5日(土)6日(日)7日(月) 会場：豊橋市公会堂ほか (愛知県豊橋市)

参加費

3日間 10,000 円 2日間 9,000 円 1日間 7,000 円

1日目夜 交流会 9,000 円 (場所：ホテルアソシア豊橋)

後援

愛知県 豊橋市 豊橋観光コンベンション協会

愛知県社会福祉協議会 豊橋市社会福祉協議会 名古屋市社会福祉協議会

公益社団法人 認知症の人と家族の会 愛知県支部

あいち在宅福祉サービス事業者懇談会

愛知県民主医療機関連合会 岐阜県民主医療機関連合会

長野県民主医療機関連合会

■お問い合わせ先 ◇現地実行委員会事務局◇

高齢者福祉施設「ケアハウスちあき」(担当：服部)

Tel:0586-81-7013 Fax:0586-81-7023

E-mail:fukushi@chiaki.com

参加の呼びかけ

全国の老人福祉施設関係者のみなさん

私たち「21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会」(略称：21・老福連)は、実践交流と連携を目的とした老人福祉の連絡組織として、2002年6月に発足いたしました。発足にあたって、

- ①介護保険の混乱と矛盾から高齢者を守る立場で、公的福祉の確立を目指すとともに、真の高齢者福祉、介護保険の在り方について実践も含めた意見交換を活発に行う
- ②高齢者主体の援助実践、ケアの質、暮らしの内容を豊かにするため、「職員研究交流集会」を開催する
- ③老人福祉の向上を目指す活動、社会保障を守る活動などを諸団体と共同、連携し積極的に進める

これらを目的に掲げ、毎年「実践・交流・連携」を重ねてきました。

この集会は上記の目的に沿った三日間で構成されています。その中でも分科会は、参加者が仕事への誇りを持ち、勇気と元気を得ることを目的にしています。たんなる事例発表ではなく、一日かけて参加者全員がテーマに沿って本音で語り合い、今後の豊かな援助実践に繋げる内容となっています。

昨年の安全保障関連法案の成立は国民の暮らしを根底から揺るがし、戦後70年守ってきた平和まで脅かしています。5年間で二度の大震災を経験した者として、この国の岐路に生きている私たちだからこそ福祉の原点に立ち返り、誰もが安心して暮らせる世の中はどうあるべきかを今年の集会でも考えていきたいと思います。高齢者福祉に携わる全国の仲間と一緒に学びを深めて希望と元気を持ち帰れる職員研究交流集会となるよう多くの方のご参加を、日本の中間に位置する愛知県豊橋でお待ちしております。

日時

2016年11月5日(土) 13:00～17:30 ※交流会 19:00～
6日(日) 9:30～16:30
7日(月) 10:00～12:40

会場

2016年11月5日(土)・・・(豊橋市公会堂)
6日(日)・・・(豊橋商工会議所ほか2ヶ所)
7日(月)・・・(穂の国とよはし芸術劇場 PLAT)

参加費

3日間 10,000円 2日間 9,000円 1日間 7,000円
交流会(1日目夜) 9,000円

主催

●主催 21世紀・老人福祉の向上をめざす施設連絡会(略称21・老福連)
Tel:06-6770-1600 fax:06-6770-1611
E-mail:roufuku@siren.ocn.ne.jp HP:<http://www.roufukuren.jp/>
お問い合わせ先 ◇現地実行委員会事務局◇
高齢者福祉施設「ケアハウスちあき」(担当:服部)
Tel:0586-81-7013 Fax:0586-81-7023
E-mail:fukushi@chiaki.com

申込方法

別紙、名鉄観光からのご案内文書をご確認の上、「参加申込用紙」に必要事項をご記入いただき、FAXにて名鉄観光にお申ください。

★参加申込締切 9月23日(金)★

申込受付後、10月上旬より名鉄観光から参加確認書(参加券・宿泊案内など)と請求書をお送りいたします。

テーマ

のんほい!みんなで語ろう 私たちの誇り、介護の魅力 ～守りたい大切な命、つなげよう福祉の心～

目的

今年は、東日本大震災と福島原発事故から5年を経過しました。今なお避難を余儀なくされている方は3県（岩手、宮城、福島）で約18万人です。生業が取り戻せない中、被災者の医療費・介護費の減免制度の継続と復活はいのちと健康に直結した問題となっています。さらに、今年4月に熊本地震が起き、現在1万人以上の方が避難生活を続けています。今後、生活基盤立ち上げまでのサポートが求められています。

「医療介護総合法」により介護給付の削減と利用者の負担増の介護保険法改定が2015年4月より実施されました。さらに6月には、政府は「骨太方針2015」を閣議決定し、社会保障の自然増を5000億円弱の増加に抑える方針を示しました。

私たちは、介護保険制度導入時の理念「介護の社会化」を見据え、私たちの目指す地域包括ケアをいかに取り組んでいくかが課題となっています。

そこで、いのちの尊厳を守り、私たちが目指す介護の魅力をみんなで語り、利用者さんをはじめとする大切な命を守り、全国に福祉の心をつなげるために、第16回職員研究交流集会で話し合いましょう。

1日目

「**全体会**」

12:00~	受付開始
13:00~13:15	歓迎セレモニー
13:15~13:25	開会挨拶・オリエンテーション
13:25~14:05	21・老福連の歩みと基調報告 講師：21・老福連事務局長 正森 克也氏
14:05~14:30	熊本地震 被災地からの報告
14:30~15:00	*記念講演I『原発事故5年を経過し想うこと ～職員アンケート調査を実施して～』 講師：介護老人保健施設はなひらの 事務長 遠藤 純一氏
15:00~15:20	休憩
15:20~17:20	*記念講演II「介護・医療崩壊の深層と再生の処方箋 取り戻せ国民のための医療と介護」 講師：元外科医・NPO法人医療制度研究会副理事長 本田 宏氏
17:20~17:30	2日目の会場説明
17:30~18:00	(分科会の説明と打合せ：座長、助言者)

「**交流会**」

19:00~21:00	愛知と豊橋の名物をはじめとしたホテルメニューでお楽しみください。 同じ福祉従事者として、この集会での出会いの絆を深めましょう。
-------------	--

2日目

「**分散会**」

09:00~	受付開始
09:30~16:30	分科会・分散会

3日目

「**全体会**」

10:00~10:20	受付開始
10:20~11:50	記念講演III『人生前向き、悩みの向こうに明日が見える』 講師：タレント、ラジオパーソナリティー、歌手、柔道家 長野大学福祉学部客員教授 三四六氏
11:50~12:20	「3年後の私への手紙」
12:20~12:40	閉会・次回開催地挨拶

●基調報告

5日(土) 13:25～14:05

21・老福連 事務局長 正森 克也氏

21・老福連は介護保険法が成立した(97年12月)翌年の8月に、全国の施設長36名有志が呼びかけ、介護保険制度が施行された翌年3月に結成総会を開きました。

介護保険制度は保険(共助)の制度であり、老人福祉は社会福祉(公的責任)の制度です。制度施行から16年、今、改めて、「社会福祉」のあり方を、21・老福連の結成の経緯を振り返りながら、研究交流集会の基調報告を行います。「公的福祉の確立」と「ゆたかな援助実践」という21・老福連が掲げる共同理念の存在意義は、今いつそ大きくなっていると感じています。

●記念講演Ⅰ 5日(土) 14:30～15:00

「原発事故5年を経過し想うこと

～職員アンケート調査を実施して～」

講師：介護老人保健施設 はなひらの 事務長 遠藤 純一氏

東日本大震災での原発事故。被災から5年経過した福島の今を報告します。故郷に帰れない方々の思いと目に見えない放射能。収束が見えない福島原発がもたらしている職員の苦悩をアンケートから報告し、私たちにできる支援と今後について考えていきたいと思います。

●記念講演Ⅱ 5日(土) 15:20～17:20

「介護・医療崩壊の深層と再生の处方箋

取り戻せ国民のための医療と介護」

講師：元外科医・NPO法人医療制度研究会副理事長 本田 宏氏



「介護の社会化」を謳い文句に導入され期待された介護保険制度は、利用者の介護保険外し、利用料1割負担から2割負担制度へ、介護事業所の倒産と介護職員の離職と「介護の社会化」は遠ざかるばかりです。

医療費の削減から始まった介護保険制度の実態となぜ医療崩壊と介護制度崩壊が起こるのかを元外科医の立場でお話し頂きます。

プロの漫才師かと思うほど講演は笑いっぱなしですが、今後の展望が見え元気になります。

●記念講演Ⅲ 7日(月) 10:20～11:50

「人生前向き、悩みの向こうに明日が見える」

講師：タレント、ラジオパーソナリティー、歌手、柔道家

長野大学福祉学部客員教授 三四六氏



柔道選手としてオリンピック金メダルを目指し、明治大学でも柔道選手として活躍するが度重なる怪我により競技を断念。

吉本興業に2年在籍後渡米などを経てタレント、ラジオパーソナリティー、歌手として活動。特にラジオパーソナリティーとしては、若者の悩み相談が好評。

怪我での柔道家としての挫折や渡米等、様々な人生経験をとおしての「前向きに生きる事」へのアドバイスをしていただける筈です。

こんな三四六さんから私たちに勇気と元気をもらえることでしょう。

No.	分科会名	分散会	分散会名	分散会	テーマ	座長	助言者
A—1	豊かな日常生活を支える①	豊かな日常生活を支える②	豊かな日常生活を支える③	認知症のケアを考える①	その人らしい暮らしを支えることを中心に、日常生活の中での支援のあり方や個別ケアの工夫、現場での実践事例を持ち寄り学び合いましょう。	東京 みやま大樹の苑 施設長 稲垣 瑞恵	群馬 横名郷の園 施設長 大美賀 亨
A—2	施設でその人らしい暮らしを支える	認知症のケアを考える②	認知症のケアを考える③	重度化した高齢者への対応 (医療と介護の連携・看取り等)①	・高齢者の「その人らしい暮らし」を支える取り組み ・その人のQOLからつながるリーディングや外出支援などの工夫の実践 ・排泄ケアや入浴ケアなどの工夫の実践 ・チームケア、多職種協働による実践 ・認知症高齢者が安心して生活できる為の創意工夫の実践 ・認知症高齢者の尊厳を大切にしたケアの取り組み ・医療ニーズへの対応など課題 ・感染予防対策の取り組み ・皮膚ケアの充実、褥瘡予防の取り組み ・生活の延長にある看取りケアの実践 ・最期まで食べることを大切にした実践 ・嚥下障害や食欲不振、認知症による摂取量低下等への栄養改善の取り組み ・調理現場における個別対応と調理の工夫 ・サービス機関との連携、地域資源の活用	福島 おねつき 相談員 佐藤 佐智子	新潟 しおかぜ荘 施設長 松井 裕
A—3				重度化した高齢者への対応 (医療と介護の連携・看取り等)②	福島 おはなひらの 事務局長 遠藤 純一	愛知 特養ちあき 施設長 竹永 徹	
A—4				重度化した高齢者への対応 (医療と介護の連携・看取り等)③	福島 いのこの里 管 理栄養士 添田 香代子	京都 原谷こぶしの里 施設長 介山 篤	
A—5	有料ホーム・ケアハウスなどの多様な住まいの機能と役割を考える			食について考える	北海道 かりび・あつべつ	東京 すこやか福祉会	
A—6	養護老人ホームの役割を考える				福島 おおつき 副施設長 森田 由美子	岐阜 ケアハウスささゆり 施設長 早川 國弘	
					高齢者の住まいの普及が促進され、各地で多様な住まいが建設されています。サービス付きの高齢者住宅、有料老人ホーム(住宅型・介護付き)、グループピーリングなど、これらが「老人の住まいと介護」の保障になり得るのか、また安心の住まい「終の棲家」になり得るのか、事例を持ち寄り、現状と課題を議論しましょう。 ・多様な住まいの機能と役割、運営の問題・課題 ・中重度者への対応 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題 ・地域でのネットワークと連携	大阪 城東養護老人ホーム 施設長 中島 美智	岡山 岡山市会陽の里

No.	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
B	B-1	短期入所の取り組みを中心とした実践事例を交り学び合いましょう	在宅生活を支えるショートステイやデイサービスの役割や課題、地域のネットワーク、医療ニーズ	宮城 宮城野の里	島根 ひまわり園 本館施設課長 木原 淳	
	B-2	通所介護の取り組み 地域密着型通所介護	・認知症高齢者のショートステイ、デイサービス特有の課題、難しさ、工夫した取り組み ・緊急ショートステイの受け入れ(高齢者虐待での対応等) ・ショートステイの洗濯、荷物の点検、ニーズの変化 ・デイサービスの役割と求められるニーズの変化	大阪 結いの里 施設長 阿部 裕一郎	滋賀 デイセンターやくら 所長 水谷 隆美	
	B-3	通所介護の取り組み 大規模通所介護(定員18人超)	・在宅介護を支える上の家族支援の取り組み、世帯単位での支援の在り方 ・アセスメントリスク管理、情報共有 ・医療的ケアが必要な利用者の対応と課題	千葉 やわら木苑 施設長 阿部 孝志	東京 白十字八国苑 所長 吉田 裕	
	B-4	困難事例など(介護支援専門員)	・チームケア、多機能協働、他機関との連携による支援	長野 ゆいの里	長野 ゆいの里	
	B-5	在宅を支える訪問事業	・訪問介護、訪問リハ、訪問歯科、訪問入浴 度重なる制度改定に、利用者・家族の在宅生活は、大きな影響を受けています。看取り、独居の高齢者を支える緊密なネットワークの構築も急務です。事例を通して、訪問介護の専門性を語り合い、問題を共有しましょう。 ・サービス提供責任者の主張…「やりがいはあるけど。何とかしてよ！この現実」 ・生活支援の専門性…「その人らしさを支え、今日も明日も生活できる」を支える ・ヘルパーの想い「医療行為…研修制度、事故のリスクなど考えておきたい事 ・この家で最後まで…在宅での看取りの実態 ・介護報酬改定においての訪問介護現場での影響と支援	山形 とかみ共生苑 部長 高梨 友也	兵庫 あじや薬業苑 兵庫 あじや薬業苑	
	B-6	在宅生活を支える	(グループホーム) 地域密着型サービスとして、地域の中におけるグループホームのあり方、重度化や看取りの対応等、ケアの質が問われています。グループホームならではのケアや課題を持ち寄り議論しますよ。	岐阜 サンシャイン美濃白川 施設長 安江 豊子	岐阜 ひだまり 管理者 常陸 実	
	B-7	小規模多機能施設	・グループホームでのケアのあり方、「看取り」「家庭復帰」などの実践 ・グループホームの役割、地域の関わり、連携 ・グループホームの認知症ケアの実践	愛知 岩倉小規模多機能 所長 村山 真理子	愛知 岩倉小規模多機能 所長 村山 真理子	
	B-8	地域包括ケアと総合事業	(在宅介護支援・地域包括支援・在宅介護支援センター・特養相談部門) 高齢者は、地域で暮らし続ける中で、たくさんの生活問題を抱えます。安心して暮らすことができる地域づくり、コミュニティケアについて、また市町村独自の制度など、その人らしい生活が支えられる地域包括ケアの姿について、実践事例を通して議論しましょう。 ・地域ケアの新たな役割と課題 ・権利擁護について(虐待防止・早期発見・成年後見制度の活動報告) ・事業所の運営とケアマネージャーの資質の向上への取り組みについて ・多問題家族や一人暮らし、老老介護など困難事例への取り組み ・障害のある家族支援の取り組み	愛知 介護保険サービスセンター・ちあき 所長 許斐 明子	兵庫 あじや薬業苑 施設長 小林 浩司	

No.	分科会名	分散会	分散会名	テーマ	座長	助言者
C	安心・安全な生活を考える	C 安心・安全な生活		日常生活の中には多くのリスクが存在します。リスクへの対応をどのように据えるかで、利用者の生活のあり様が変わることがあります。事故予防の取り組みや体制づくり、研修や学習活動など各施設の実践を持ち寄り議論しましょう。東日本大震災を教訓に、明らかになつた課題について考えましょう。	宮城 田子のまち 介護課長 高橋 純子	福岡いきいき八田 施設長 山本 明美
D	介護の悩みや誇りを語りあおう	D 職場づくり①		職員が誇りと自信を持つて元気に働くことは、職場の大きな目標です。そのような職場づくりをどのようにも進めらか、取り組みの事例などを持ち寄り、課題や問題解決のヒントを考えましょう。新しい組織の活性化につながる取り組み	大阪いのこの里 法人事務局次長 中村 公三	富山 じらいわ苑 施設長 加藤 まゆみ
E	福祉施設における事務の役割を考える	D 職場づくり②		自身の考え方や意見を本音でぶつけ合い、職場の問題に取り組んだ事例 ・職場のストレスマネジメントやメンタルヘルスについて ・管理職や上司、他職種とのコミュニケーションについて ・研修制度、職員育成の工夫や悩みなど ・チームワークや協力連携への課題など ・介護キャリア段立制度をもたらすこと	京都ライブイキぬかげ 事務長 藤田 隼平	兵庫 にしのみや苑 施設長 田中 研次
F	家族介護者を支える	E 事務の役割を考える		事業の多様化、制度改定、厳しい経営環境のなか、「実務の要」としての役割がますます重要な役割について議論を深めましょう。 ・福祉施設における事務部門の役割、他部門との連携の工夫 ・事務、経理、総務事務の効率化、経営データの活用 ・事務部門からみた介護保険制度の問題 ・施設の民主的運営の課題、各種委員会の事務局など運営への参加 ・全職員参加の運営、処遇改善に向けた取り組みなど ・情報管理制度と情報公開の課題 ・守秘義務と課題	千葉 やわら木苑 総合サービス室長 伊藤 裕之	宮城 宮城厚生福祉会 法人事務局次長 大内 誠
F	家族介護者を支える	F 家族の介護者を考える (家族会の活動について)		介護保険は「介護の社会化」をうたっていましたが、依然として家族介護に軽る実状があります。在宅介護と施設介護の費用や介護負担の違いなど課題は山積していることに加え、在宅介護の4人に1人はうつ傾向が見られる、心身の疲労を抱えているなどの報告もあり、介護者を重要課題と言えます。利用者を支える心のために、利用者ご本人のみならず家族等の介護者を対象とした援助技術や支援体制、介護者同士の支援等ネットワークの構築、地域のインフォーマルな共同組織などの取り組みや課題を待ち寄り考えていきましょう。 ・家族活動の現状と課題 ・家族とのケアパートナーシップ ・家族等介護者への支援と課題 ・介護者のネットワークづくりの現状と課題 ・地域のインフォーマルな共同組織活動 ・家族介護の家族の本音とその支援	石川 なんぶやすらぎホーム 施設長 坂口 朋美	東京 白十字ホーム ホーム長 西園 修

分科会演題募集

職員研究交流集会の分科会には毎年 100 本を超えるレポートが提出され、有意義な実践交流が図られます。日々一生懸命、高齢者に寄り添いながら、ゆたかな援助実践を積まれている全国の皆さん、日頃の地道な実践を愛知に持ち寄り、ともに学び、ともに育ちあいませんか？ぜひ、分科会一覧表（P5～7）をご参照の上、発表をご検討下さい。発表いただける方は、8月31日（水）までに **21・老福連のホームページからエントリーをお願いいたします。**

1

エントリー

8/31 しめきり

2

抄録提出

9/15 しめきり

3

パワーポイント

10/15 しめきり

1

分科会のエントリー方法

- 2018/05/02 18:52:55
- お知らせ ●
- 職員研究会活動としての活動を終了します [2018/05/02]
 - 21・老福連 16年度総会のご案内 [2018/05/02]
 - 職員研究会実践活動へのご協力のお願い [2018/04/10]
 - 第4回開拓オフィック小型職員研修 実行委員会迷惑vol.4です [2018/03/08]
 - 第4回開拓オフィック小型職員研修 実行委員会迷惑vol.3です [2018/02/28]
- [...] [more...](#)
- [\[登録\]](#)
- a-Dreamer 2.81
- 主張・活動の紹介
意見交換
交流誌・集会資料等
福祉の最新情報
- 老福連とは
交流のひろば
リンク

交流誌・集会資料等



職員研究交流集会

入力フォームから必要事項を入力し、送信を押してください

演題エントリーフォーム

このページは、演題を提出するための専用ページです。提出する演題は、必ずこのページで提出してください。

※

施設名*

竹下 ブルクリネ

施設名小計がなる*

とくとう みちのあそん

施設種別*

施設運営法人

施設運営小法人

演題エントリーフォーム

回答を済ました後、「送信」をクリックしてメールアドレスに、エントリー内容を送信します。

メールの宛名を必ず確認してからお送りください。

一定時間経過後もメールが届かない場合は、アドバイスの入力間違い、迷惑メールと判定されている可能性があります。

実行委員会より連絡までお問い合わせください。

担当: ティヤー北陸センター さんま 伸 (ほん)
TEL: 0596 81 7018

○送信後、ご入力いただいたメールアドレス宛てに確認メールが届きます。必ず内容のご確認をお願いいたします。

(メール不着の場合、エントリー失敗の恐れがあります。その際は別記お問合せ先までご連絡ください。)

○エントリー受付後、分科会によって演題数の大幅な差異が生じた場合は、実行委員会で演題数の調整を行います。

希望する分科会から別の分科会へ移っていただくこともございますのであらかじめご了承下さい。

エントリー期限: 8月31日(水)

当日配布の資料に掲載する抄録を下記のとおりご提出頂くようお願い申し上げます。なお、パワーポイント使用をされる場合には「PowerPoint を用いての発表についてのお願い」(P10) をご参照下さい。パワーポイントの使用については、エントリーの時点で申し出があったものしか認められません。

【抄録作成方法】

21・老福連HP 第16回職員研究交流集会 開催要綱のページから「21・老福連第16回職員研究交流集会 演題抄録用紙（みほん）」をダウンロードのうえ作成ください。

※ レポートの末尾に、発表者施設の連絡先（問い合わせ先）を記入してください。

○WORD ファイル名：[[分散会No][県名][施設名][氏名]]】（例）A-2 愛知 すこやかの里 豊橋太郎

※ 演題抄録用紙「A4用紙1枚」にまとめてください《厳守》

【提出方法】

抄録提出先 E-mail にて WORD ファイルを添付の上、下記へお送りください。

E-mail : fukushi@chiaki.com

メールの件名、および WORD ファイル名は、[[分科会No][県名][施設名][氏名]]】として下さい。

【その他】

発表は事前エントリーされた内容に基づいてお願いします。発表にあたって、利用者等個人情報の取扱いについては、事前に同意を得る等、事業所の個人情報保護規定に従い、適正な対応をお願い致します。研究交流集会に参加できない方々とも実践交流を図る趣旨で、研究・実践報告（発表）された内容を「ゆたかなくらし」誌の21・老福連のページで掲載することもございますのでご承知おき下さい。

☆ 発表時間 1演題につき10～20分程度（各分科会によって異なるためあくまで目安）

提出期限：9月15日（木）必着

すべてのお問い合わせ先はこちら（お気軽にどうぞ）

〒491-0821 愛知県一宮市丹陽町重吉字新田裏東切 1070-6

デイサービスセンター・ちあき（担当：伴）

TEL : 0586-81-7013 FAX: 0586-81-7023

E-mail: fukushi@chiaki.com

1. 使用機材について

発表に使用する機材は Windows パソコン・プロジェクターとし、主催者側で準備致します。スピーカー、DVD プレーヤー、レーザーポインター等の用意はありませんのでご留意ください。

2. データ形式について

データの形式は、以下の通りとします。

- a) 使用ソフトウェア：パワーポイント
- b) 動画：環境に依存し、再生が担保できないため使用不可
- c) フォント（書体）：MS 明朝、MS ゴシック等 Windows 付属の標準フォントをご使用ください。

3. 発表について

発表時は、各分科会で使用するパソコンにパワーポイントのファイルをコピーしておきます。

操作は各自で責任を持って行って下さい。予め動作確認などは主催者側で実施し、トラブルのないように努めますが、基本的には各自で対応して頂く事となります。ご不明な点がございましたら、下記にご連絡をお願い致します。

4. データの事前提出

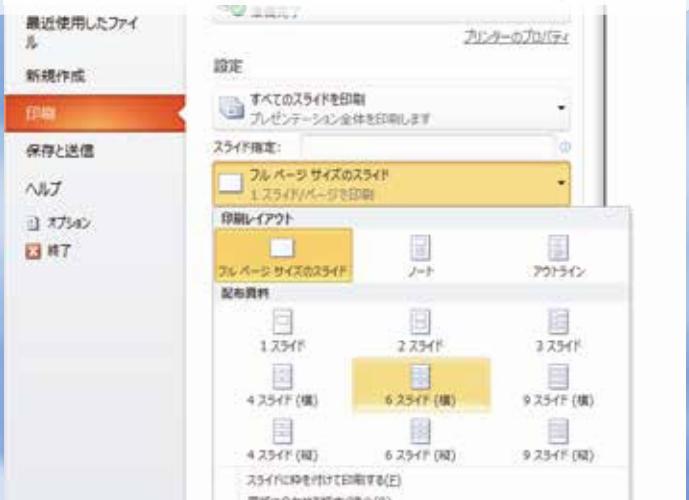
あらかじめ、発表データを下記住所に送付いただくこととします。提出は CD-R 又は DVD-R にてお願い致します。（メール添付は、容量制限で送達不能の可能性があるため、不可とさせていただきます。）

また、CD-R(DVD-R)と一緒に、紙ベースの**配布資料**を添付してください。ご提出いただいたデータ・資料については返却をいたしませんのでご了承ください。

※配布資料の印刷方法（パワーポイント 2010 の場合）

印刷→フルページサイズのスライド→配布資料→6 スライド(横)

提出期限：10月15日（土）必着



※発表当日は、配布資料を 30 部参加者用としてご持参ください。

送付先（お問い合わせ先）はこちら

※お気軽にお問い合わせください

〒491-0821 愛知県一宮市丹陽町重吉字新田裏東切 1070-6

デイサービスセンター・ちあき（担当：伴）

TEL : 0586-81-7013 FAX: 0586-81-7023

E-mail: fukushi@chiaki.com

じやん・だら・りん

21・老福連 第16回職員研究交流集会in愛知

2016年11月5日(土)6日(日)7日(月)

会場：豊橋市公会堂ほか
(愛知県豊橋市)

vol.1

21・老福連職員研究交流集会in愛知

実行委員長あいさつ

宮城からバトンを受け、第16回職員研究交流集会を11月5日から7日までの三

日間、穂の国 豊橋で開催することになりました。

この原稿を書いている5月15日の新聞にも熊本地震の記事がありました。その内容は地震発生から1ヶ月が経っても余震が頻繁に続いている現状と再建への歩みを進める被災地の状況です。この記事の中で「被災者が必要とする支援を理解し、寄り添う気持ちを持つて」とありました。この思いは私たちの仕事に対する想いと共通です。21・老福連が求めている「安心して暮らすことのできる社会保障を」の根底にある想いと共通です。熊本地震でも、いち早く被災施設の支援に動いた21・老福連の絆の強さと暖かさを感じている皆さん、私たちの役割として守らなければいけない大切な命とつなげなければいけない福祉の心をおおいに語り、思いつきり伝承していきましょう。

情勢は昨年度の介護報酬マイナス改定と安全保障関連法案の成立、社会福祉法改定と社会保障だけでなく平和までもが脅かされています。この重要な時期だからこそテーマを『のんほい！みんなで語ろう 私たちの誇り、介護の魅力』とし、サブテーマを『守りたい大切な命、つなげよう福祉の心』としました。全国から来ていただく高齢者福祉に携わる仲間が元気と勇気を持ち帰れる「第16回職員研究交流集会in愛知」となるよう実行委員一同で準備しています。施設長の皆様、悩める職員を救うため、若い職員が勇気を出すため、この仕事の誇りを持たせるために1人でも多くの参加をお願いします。

21・老福連職員研究交流集会in愛知 実行委員長 阿蘇 広志

テーマは のんほい！

みんなで語ろう 私たちの誇り、介護の魅力
～ 守りたい大切な命、つなげよう福祉の心 ～



21・老福連の、研究交流集会ってどんなものかしら？



全国から集まつた介護・福祉関係者の交流会だよ。
例年、300人を超す参加者で、様々な企画。
日頃の悩み、喜び、みんなで語り合おう！元気を持ち帰ろう！

なるほど納得！ 申し込みは8/31まで！ お早めに！

ところで、この「じやん・だら・りん」って何？



「じやん・だら・りん」は、代表的な三河弁で、それ
れ語尾に使うんだよ。意味や使い方は……
第二号のお楽しみ！

お楽しみ！



お楽しみ！



豊橋と言えばコレ!

豊橋ってどんなとこ？



ブラックサンダー

ココアクッキー＆ハードビスケットのサクサク食感と口どけの良いチヨコレートのバランスが絶妙♪おいしさナゾマ級の衝撃をご賞味あれ★特に「ブラックサンダーミニバー」は豊橋限定！！

路面電車（市電）

どこから乗つても、どこで降りても 150円！ 豊橋市民の足になっています。
路線の中には、日本一の急カーブがある所もあるそうです。運が良ければ、「ブラックサンダー号」に出会えるかも…。

豊橋力レーザンド

普通のカレーランドには考えられない驚きの二重構造、1杯で2度おいしい！ちょっと変わったカレーランド。

注文すると、どんぶりの一番上に豊橋名産のうずらの卵、次にカレーランド、続いてどうろる、最後にご飯が入っている驚きの「豊橋カレーランド」取り扱っているお店の前に、「カレーうどん」のぼりがあるからね。



「これだ！」豊橋名産ヤマサのちくわ
東海っ子にはCMでおなじみ「昔も今も変わらぬ旨さ！」
創業180年、間違いないうまさ！！ 豊橋NO1のお土産です。小腹がすいた時のおつまみにもOK！ 豊橋駅はもちろん、中部国際空港にも店舗があります。お買い忘れなく！

豊橋駅前には、直営の居酒屋もあります。
ぜひ、豊橋を代表する名産品をご賞味ください！



※名古屋はこだよ



愛知県は、本州のほぼ真ん中に位置します。豊橋は、愛知のほぼ南端、静岡県との県境に位置しています。豊橋は、愛知の新幹線駅からすぐ便利なところですよ

私たちが実行委員です



21・老福連 第16回職員研究交流集会 in 愛知 ~参加・宿泊等のご案内~

【1】お申込方法のご案内

① 参加者は申込書に必要事項を記入のうえ、9月23日(金)までに名鉄観光へFAXまたは郵送にてお申ください。電話による申込はトラブルの原因となりますのでご遠慮ください。

お申込締切日 : 平成28年9月23日(金)厳守願います

② お申込受付後、10月上旬に名鉄観光より参加確認書(参加券、宿泊案内など)と請求書をお送りします。

③ 請求書をご確認の上、10月21日(金)までに指定の振込口座へお振込ください。
振り込手数料についてはお客様ご負担とさせていただきます。

【2】 21・老福連職員研究交流集会 参加費のご案内

参加期間	1日間	2日間	3日間
金額	7,000円	9,000円	10,000

【3】 宿泊のご案内(募集型企画旅行契約)

この旅行は、名鉄観光サービス(株)名古屋中央支店が企画・実施する旅行であり、この旅行に申込されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約を締結することとなります。詳しい旅行条件を説明した書面をお渡ししますので、事前にご確認の上お申ください。ホームページ(http://www.mwt.co.jp/info/joken_ipn.pdf)または店舗にて確認ください。

■宿泊設定日:11月5日(土)、6日(日) ■旅行代金:1泊朝食(税・サ込) ■最小催行人員:1名 ■添乗員:同行しません

記号	宿泊施設名	部屋タイプ	料金(お一人様)	豊橋駅(東、西口)からのアクセス
1 - S	ホテルアソシア豊橋	シングル	13,500	東口 豊橋駅直結
1 - T		ツイン	13,000	
2	豊鉄ターミナルホテル	シングル	7,800	東口 徒歩1分
3	豊橋グリーンホテル	シングル	8,500	東口 徒歩2分
4	東横イン豊橋駅東口	シングル	8,300	東口 徒歩5分(会議所方面)
5	豊橋ステーションホテル	シングル	7,700	東口 徒歩5分(PLAT方面)
6	ニュー東洋ホテル 1	シングル	7,300	西口 徒歩2分
7	ニュー東洋ホテル 2	シングル	7,000	西口 徒歩5分
8	ABホテル豊橋	シングル	7,300	西口 徒歩5分
9	第一ホテル	シングル	6,900	西口 徒歩1分
10 - S	ホテルロワジール豊橋	シングル	11,000	西口 無料シャトルバス10分
10 - T		ツイン	10,000	

★宿泊申込の場合、上記記号をご記入ください。(例 ホテルアソシア豊橋 シングルの場合:1-S)

★ホテルは先着順です。第1希望、第2希望とも満室の場合、表記以外のホテルも案内させていただきます。

【4】 交流会のご案内

期日：平成28年11月5日(土) 時間：19時00分～

会場：ホテルアソシア豊橋 交流会費：9,000円

【5】 お弁当のご案内

希望販売にて注文を承ります。ご希望の方は申込書にご記入ください。

お弁当配布日：11月6日(日) 昼食(お弁当・お茶付) お一人 1,000円

【6】 変更・取消についてのご案内

お客様のご都合で予約を取消された場合、下記の取消料が必要となります。変更・取消の場合は必ずFAXまたは郵送でご連絡ください。

また、変更・取消後のご返金については、本会終了後速やかに行いますのでご了承ください。

取消日	参加費	宿泊 取消料	弁当 取消料	交流会 取消料
申込後	100%	無料	無料	無料
21日目にあたる日以前の解除	100%	無料	無料	無料
20日目にあたる日以降の解除	100%	20%	無料	20%
7日前にあたる日以降の解除	100%	30%	無料	30%
旅行開始日前日の解除	100%	40%	100%	40%
旅行開始日当日の解除	100%	50%	100%	50%
旅行開始後の解除または無連絡不参加	100%	100%	100%	100%

★上記取消料ならびに郵送料の実費を差し引いて、大会終了後に清算いたします。

★変更・取消などによるご清算は大会終了後に指定の口座へお振込いたします。

(事務手続き上、多少お時間をいただきますので予めご了承ください)

★大会当日のご返金は事務手続き上できません。

【7】 参加申込・宿泊・交流会・お弁当手配等についての問い合わせ先

観光庁長官登録旅行業第55号 日本旅行業協会正会員

〒450-0002



旅行業公正取引
協議会会員

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目2番28号(名古屋第2埼玉ビル1階)

《旅行企画・実施》

名鉄観光サービス株式会社 名古屋中央支店 『21・老福連 第16回職員研究交流集会』係

担当：藤江(ふじえ)、神谷(かみや)、山本啓介(やまもと)

電話：052-586-4545 FAX：052-586-4050

営業時間：月～金曜日 9:00～18:00、土、日、祝日 休み

地図

各会場と宿泊施設のご案内(数字はホテルリストの番号)



⑩ シャトルバスで西口から約 10 分(藤沢町)

会場までのご案内 (●■★は全体会、分科会、交流会会場)

11月5日(土) 全体会 ●【豊橋市公会堂】電話 0532-51-3077

- ・豊橋駅東口の市電(豊橋鉄道)「駅前」から乗車、
「市役所前」前下車すぐ
- ・豊橋駅東口より徒歩 20 分

交流会 ★【ホテルアソシア豊橋】電話 0532-57-1010

- ・豊橋駅東口直結

11月6日(日) 分科会 ■【豊橋商工会議所】電話 0532-53-7211

- ・豊橋駅東口より徒歩 10 分

■【豊橋市職員会館】電話 0532-51-2137

- ・豊橋市公会堂の隣

■【豊橋市民センターカリオンビル】電話 0532-56-5141

- ・豊橋駅東口より徒歩 10 分

11月7日(月) 全体会 ●【穂の国とよはし芸術劇場(PLAT)】電話 0532-39-8810

- ・豊橋駅東口より徒歩 5 分

『21・老福連 第16回職員研究交流集会』 参加申込書

送信先

名鉄観光サービス(株)名古屋中央支店 担当:藤江・神谷・山本 啓 行 FAX 052-586-4050 申込日 : 平成28年 月 日

県名	県	施設名
住所	〒	—

No.	参加者氏名	性別	職名	参加費		宿泊希望日	弁当	分科会 11/6(日)		備考
				1日間 参加費 9,000円	2日間 参加費 10,000円			11/6 (日) 10,000円	※ホテル記号を記入ください。 ホテル希望	
例	アイチ タロウ	男	施設長	11/5 (土)	11/6 (日)	11/7 (月)	○	第1希望	1-S	ツイン同室者、喫煙等 禁煙と判断させたい。
	愛知 太郎			○	○	○	○	第2希望	3	禁煙・喫煙
1							○	第1希望	3	禁煙・喫煙
2							○	第2希望	3	禁煙・喫煙
3							○	第1希望	3	禁煙・喫煙
4							○	第2希望	3	禁煙・喫煙
お申込金額計算欄		参加費計	交流会費計	宿泊費 第1希望 基準		11/5泊計	11/6泊計	弁当代計	総合計	円
						円	円	円	円	円

<注意事項> ※禁煙・喫煙はご希望に添えない場合があります。※郵送の場合は必ず控えをおとりください。※5名以上の場合はコピーしてお使いください。

<返金先口座記入欄> (返金の際、手数料は差し引いて下記口座にて清算いたします。口座名義はカタカナにて記入ください)

申込締切 : 9月23日(金)

金融機関名	銀行	支店名	支店	口座番号	普通・当座	口座名義
-------	----	-----	----	------	-------	------

<弊社使用欄>

上記、受領いたしました。

※ 当申込書に記載された個人情報は、運営管理の目的のみのために使用いたします。

※ 手話通訳・要約筆記が必要な場合は「現地実行委員会事務局」までご連絡をお願いいたします。

No.